

小中一貫教育説明会（2日目）における意見・質問・要望等【概要】

日 時：10月21日（日）午後7時～午後9時

参加者：増田教育長 光嶋教育部長 岩井学校教育課長 細矢学校教育課課長補佐
茨木教育総務係長 田中学校教育係長
一般住民22名

【進め方について】

☆今日の参加者が少ないのは、裏を返せば宇治田原町の住民は子どもの教育に関して教育委員会にお任せしていますということと捉えてもいいと思う。そうなるともっと重大な責任感が出てくると感じます。（立川、男性）

☆今日は小中学校の先生方は誰か参加されているのか。実際に実践している方がその中身を報告されたら、もっと真実味が伝わるのに何故呼ばなかったのか。（立川、男性）

☆どんな方法であれ、学力、体力をつけるために宇治田原式の教育方法を実践していただきたい。施設の問題は大人が考えること。そのために住民代表の議員の方もおられる。そういう方たちとしっかり摺合せをして教育委員会としての態度をはっきりさせてほしい。（立川、男性）

☆町づくりでは人口を増やす計画なので絶対小学校を2つ残しておくべき。一貫教育は既に取組んでいる。2小1中でそんなに距離も離れていないので今のままで工夫すれば十分にやって行ける。学校のあり方をどんなふう考えているのか教えてほしい。（岩山、女性）

☆説明会を今後もすると言われたので安心した。若いお母さんの中で心配に思っておられる方もたくさんいます。学校や保育所で、参観の後とか人が多く集まる時に小中一貫の良さについて話をしたらどうか。（岩山、女性）

☆今後進められていく中で、決まったことだけ報告されることがないように、もっと地域の方や保護者の方の意見や不安を聞いていただける機会や方法を考えてほしい。（岩山、女性）

☆小中一貫でベクトルを合わせて学力向上に取り組まれることは結構だと思う。ただ、分離型で各学校と連携や目標、水準を合わせて、人口の推移を見ながら一体型、隣接型へ移行していくやり方では何故だめなのかと思う。（郷之口、女性）

☆何年か前に宇治田原小学校で小中一貫校の説明会があったが、今日はそれ以来ということで間違いないか。(岩山、男性)

☆地域住民と話し合い、連携し、地域に支えられた学校運営をするというのが小中一貫教育の主題だと思う。以前はアンケートもとられたが、今回はたたき台ではなく、ほぼ完成したものが出された。誰が参加し、誰が決めたのか知りたいし、なぜ何年もの間、住民に途中経過を説明しなかったのか。(岩山、男性)

☆教育委員会の中で慎重をきすため時間をかけて内部でやられたとのことで、どこに住民の意見が入るのですか。(岩山、男性)

☆一体か分離かそれは町の財政なり色んなところと町づくりも含めて総合教育会議ですか、そこらあたりが考えていってください。それから責任と重大性を痛感して自信を持って進めてください。(立川、男性)

【進め方について (広報について)】

☆広報は学期に1回、数カ月に1回発行し、教育委員会や学校の様子を細かく知らせてほしい。今日の会議でも地域、保護者の数としては少ないと思う。人が多く集まる所にこちらから足を運んでコツコツとしていくのが密着型でいいと思う。(立川、男性)

【進め方について (小中一貫教育決定までの経過や取組姿勢)】

☆広報誌には「望ましい」という表現がある。態度をはっきり示した上で意見を聞いた方がよい。今回の決定は、教育委員の方5名でしたのか、教育委員会事務局がしたのか。委員の会議で決定したのであれば、総意なのか、数名は違う意見をお持ちなのかを聞きたい(立川、男性)

【教育制度等について】

☆何故、小中一貫教育なのか未だにストーンと落ちてこない。他の方法もあったのではないか。平成22年から取組んでいるのに学力テストは去年、今年と低い。効果が出ていないと思います。(立川、男性)

☆一貫教育を始めて子どもたちがどのように伸びてきたのか。右肩上がりになるよう地域や親も含めて取り組んでいく必要がある。中学校の英語、音楽の先生が小学校に行けるのなら、その逆は無理なのか。(立川、男性)

☆施設一体となれば、体育授業や休み時間のことを工夫するとしても子どもが混乱するだけ。第一、遊びが十分にできないというのは子どもにとって決定的です。意思疎通するにしても小規模が一番良いと思う。心の触れ合う時間をしっかりと持つことが基本だと思う。(岩山、男性)

☆3つの視点で、学校の規模や児童数を適正化し、よりよい集団をつくとあり、1学級の場合「集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重したりする経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい」とあるが、この根拠は何か。(岩山、男性)

☆最近、発達障害の子どもが増えているように感じる。比率的にも今後の学校運営、非常に厳しいものがあると思っている。もし支援を要する子どもが多く、学級崩壊をきたすようなことになったらどうするのか。発達障害の子どもを少人数制で見とけるのが常識でしょ。田小も宇小も残してほしい。分離型でいいほしい。(郷之口、男性)

【教育制度等について（学園構想）】

☆愛称は維孝館学園とあるが正式名称は何というのか。(立川、男性)

【教育制度等について（一体型、隣接型のデメリット）】

☆一体型、隣接型の優れている面しか説明されず、問題点を全く述べられていない。

- ・小中学校で授業時間が5分違う。始業、終業のチャイムが混在することになる。
- ・グラウンドが小中で1つになれば、授業時数の関係で週3回の体育の授業が組めない。
- ・6歳の子どもと15歳の子どもが同じ敷地には、休み時間も自由に遊べない。
- ・学力向上に期待するとあるが、小中一貫教育で何故学力が上がるのか、その根拠を示してもらいたい。(岩山、男性)

【通学について】

一体型になった場合、維孝館中学校周辺であれば、どの地域からも通学の便が良いという説明でしたが、緑苑坂、銘城台、郷之口と徒歩通学になれば、大多数の人が不便になる。通学について不安を感じるが、スクールバスについてどの程度プランを持っているのか。(郷之口、女性)

【施設、財政、その他について】

☆施設を1つにするというが、両学校とも非常に立派な学校だ。跡利用されるといってもったいない。新庁舎の予算は膨大と聞いている。また、町の人口が増えると予想されているが、子どもの人数は段々少なくなっていくという予想。矛盾しているように思う。(岩山、男性)

☆本町の学校は立派で近隣でもピカイチだと思う。年数は経っていますが、設備もゆとりがあって素晴らしい学校なので使えなくなるのが非常にもったいない。今後、学校を建てるとなれば、実際に町が出す金額はどれくらいを想定しているのか。(岩山、女性)